

北部ダム統合管理事務所

TEL 0980-53-2442

FAX 0980-52-4444

<http://www.dc.ogb.go.jp/toukan/>

※ダム管理及び広報誌に対するご意見・ご要望は、上記の連絡先までお願いします。

とうかん

令和2年度国管理ダム貯水池概況

●国管理9ダムの流域平均雨量は平年を上回った

令和2年度の国管理9ダムの流域平均雨量は、平年値(H22～H31の平均)より多い2,959mm(平年値2,571mm)でした。特に、令和2年12月～令和3年2月までは平年値を大きく上回る雨量を記録しました。



●2年連続で国管理9ダムが同時に貯水率100%を記録

令和2年度の国管理9ダムは、4月1日の貯水率が76.5%と平年値(72.2%)よりも高い状態でした。しかし、令和2年4月の流域平均雨量が72mm(平年値の37%)と少雨であったため、1か月後の5月1日には67.9%(平年値72.9%)となり、1カ月で8.6ポイントも低下しました。(その後の降雨で5月23日には平年値まで回復)

5月以降は平年値を上回る降雨があり、6月には辺野喜ダムを除く8ダムで貯水率が100%となりました。また8月25日には、国管理9ダムが同時に貯水率100%を記録しました。9ダムが同時に貯水率100を記録するのは2年連続となります。

現在の国管理9ダムの貯水率は3月31日時点でも97.5%と平年値より高い状況ですが、少雨が続くと貯水率の低下速度も速くなります。みなさん、ダムの貯水率が高くても節水にご協力ください。



令和2年度工事完成報告

○福地ダム

福地ダムの下流側にサクラの園地を整備しており、令和2年度に25本補植し整備を完了しました。今後、サクラが更に成長し憩いの広場になることを期待しています。

福地ダム資料館では大型表示モニターが整備され、5ダムの統合運用のリアルタイムの状況等、情報提供の充実化が図れるようになりました。

○新川ダム

新川ダムの屋外トイレでは、非接触によるコロナ対策として、手洗い場や小便器についてセンサーによる自動水栓化を行い、清潔感の向上を図りました。



ダムからの望むサクラの園地



福地ダム資料館に整備された
大型表示モニター



手洗い場の自動水栓化

○漢那ダム

ダム堤体下流にある山側のマングローブ林の中に棧橋を設置していましたが、木製の棧橋は、杉板の腐食や老朽化、割れている個所があり、歩行に支障となっていましたため補修しました。この場所は環境学習等の時に一般の方も利用し、人気のある場所となっています。

漢那ダム管理庁舎側と湖畔公園側の屋外トイレで、和式のもの4個所を洋式便器に取替え、ドアの改修等もを行い、利用しやすくなりました。 庁舎側(男子1、女子1)、湖畔公園側(女子2)



マングローブ林の棧橋補修



屋外トイレの便器改修

○大保ダム

「学習の川」の周辺部の高低差のある段差部および階段部について、安全対策を実施しました。



転落防止対策



階段部視認性向上

○金武ダム

- ・老朽化で水漏れを繰り返していた、魚道を改修いたしました。
- ・外国人に対応した、案内サインを新設しました。



魚道



案内サイン

○安波ダム

本ダム堤体左岸側のモルタル吹付法面において、全体的にひび割れが発生し、モルタル片落下の恐れがあつたため、法面補修(既設モルタル撤去・吹付)を行い、法面直下にある駐車場の安全を確保しました。



施工前



施工後

○羽地ダム

①ダム堤体下流は近場で川遊びが出来るよう休憩施設が整備されておりますが、近年の台風等により休憩施設のよしすが無くなったり破損しております。今回、全体的によしすを更新して休憩施設をリニューアルしました。

②ダム堤体下の洪水吐き付近に管理用階段を設置しました。地震発生時等の点検ルートでもあり、設置によってより安全迅速な点検が可能となりました。(※一般の利用も可)



①休憩施設リニューアル



②管理用道路設置

「野鳥観察会」が開催されました

令和3年3月13日(土)午前9時～12時に、漢那ダムで「野鳥観察会」が開催されました。

宜野座村立博物館(宜野座村教育委員会)が企画し、昨年2月にも行ったところ好評で、参加者から今年も行って欲しいと要望が多々あったので、今年は人数を半分の10名に縮小し、20歳以上と年齢も制限して募集し、満員の参加があつたそうです。博物館の職員も5人随行したそうで、観察会の状況を伺いました。

— 当日は天候に恵まれ、朝9時に博物館に集合、講師の嵩原建二先生(沖縄野鳥研究会)を招き、先生が資料を説明しながら観察場所に向かいました。

①農業後継者等育成センター付近 → ②松田渦原 → ③ヒーピー浜 →

④松田前原 → ⑤宜野座福地川 → ⑥漢那ダム と移動し、各所で様々な野鳥が観察されました。宜野座村で確認される主な鳥類は「旅・冬鳥」で、最近新たに観察記録のある「メジロガモ」は残念ながら見れませんでしたが、漢那ダムで「ヒドリガモ」等が観察できました。参加者の皆様は終始笑顔で、双眼鏡で熱心に観察してました。「楽しかった。また参加したい。」「宜野座村にこんなに鳥がいると思わなかった。山や川や海の鳥などいろんな種類の鳥が見られることがわかった。」など感想がありました。無事に観察会を終えました。—



「観察会の状況」



「観察小屋で野鳥観察」



「ヒドリガモ」

※ 漢那ダムの第2貯水池には「観察小屋」があります。季節によって見られる

野鳥も違います。北部ダム統合管理事務所のホームページで紹介しています。

「漢那ダム湖畔公園・第2貯水池」

～いのちとくらしをまもる防災減災～ パンフレット配布しています



近年、気候変動の影響により、自然災害等は激甚化・頻発化し、その被害も甚大化し、極めて深刻な状況が続いています。これらの施設能力を超える災害が発生した場合は、避難等のソフト対策がを行うことで命を守る必要があります。

国では、国・県・市町村、住民や企業など全ての関係者が連携することにより施策を強化・充実することとし、「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちとくらしをまもる防災減災～」を進めています。その一環として、当事務所では、住民向けの「みんなで始める防災・減災～国民一人一人ができること～」というパンフレットを配布しています。

このパンフレットでは、災害時に、住民の皆さん一人ひとりに協力・行動いただきたいポイントが示されていますので、いざという時の備えのため、ご家庭でも是非ご一読ください。



https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/img/print_citizens.pdf.pdf

令和3年4月1日現在 国ダム(9ダム)貯水率：97.4% (平年値：73.0%)

【4月の行事予定】

日(曜日)	担当	行事名称	主な内容
5日(月)	防災専門官	所内研修(危機管理Ⅰ)	危機管理体制及び出水対応に関する研修
9日(金)	防災専門官	所内研修(危機管理Ⅱ)	操作規則・細則(洪水調節等)に関する研修
下旬	各ダム	安全利用点検	GW前に地域の皆様と合同で各利用施設を点検

会員特典

★湖水友の会メール会員募集中★(無料・特典満載)

湖水友の会は、会員の皆様にダム管理に関する情報及び各種イベントの案内等を行い、ダム管理業務に対する一般者の理解を深めること及び水源地域の活性化を目的としています。

- ①広報誌を毎月配信
 - ②ダムツアーにご招待
 - ③カヌー体験にご招待
 - ④イベント会員枠確保
 - ⑤会員専用駐車場確保
- ※②～⑤は希望者多数の場合、抽選となります。

入会の条件は、18歳以上の希望者とし、申し込みは下記メールアドレス【「☆」を「@」に置き換えて下さい。】宛に ①住所、②氏名、③年齢を送信するだけです。

詳しくは、北部ダム統合管理事務所 流域対策課 調査係 TEL:0980-53-2442

申し込みアドレス：hdtden910☆ogb.cao.go.jp



現在会員数 505名

* その他情報はこちらから

やんばるのダム

検索